

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月31日

計画の名称	千里山駅周辺地区（第2期）都市再生整備計画												
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	吹田市												
計画の目標	大目標：千里山の玄関として安全・安心な都市機能と良好な環境を備えた市街地の形成 目標1：歩道拡幅及び整備による交通安全性と歩行快適性の向上 目標2：オープンスペース整備による安全性と快適性及びまちなみ景観の向上 目標3：緑あふれ、うるおいがある美しいまちづくり												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	40	A	40	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初		H30末
1	歩行者空間・緑空間の確保により、利便性・安全性・アメニティの向上を目指し、歩行者の満足度を31.7%（H27）から45.0%（H30）に増加 吹田市市民意識調査より、歩道整備状況満足度を算出する	32%	%	45%
2	歩行者空間の整備により、安全性と快適性の向上を目指し、安全な歩行者の通行量の増加を図り、歩行者空間通行率を90.6%（H27）から95.3%（H30）に増加 1日の通行歩行者のうち、歩行者空間を通行している歩行者の割合を、通行量調査にて算出する	91%	%	95%
3	歩行者空間・緑空間の整備により、美しいまちづくりを目指し、良好な景観の形成に対する満足度を52.7%（H27）から60.0%（H30）に増加 地域市民へのアンケート調査より、景観形成満足度を算出する	53%	%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
定量的指標の当初現況値（H28当初）については、整備計画を作成した平成27年度時点の数値を適用しています。								

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	H32				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	吹田市	直接	吹田市	-	-	千里山駅周辺地区(第2期))都市再生整備計画事業	区域面積 A=13ha	吹田市						40		-	
		全体事業費39.9百万円を四捨五入																		
											小計						40			
											合計						40			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	3.2	13.3			
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	△ 6.5			
交付額 (c=a+b)	3.2	6.8			
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0			
支払済額 (e)	3.2	6.8			
翌年度繰越額 (f)	0.0	0.0			
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0	0.0			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	0.0	0.0			